



東中学校だより(9) 令和7年3月19日

麓あかくそびえて建てり

校歌の一節より

佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel.67-2392 文責:傳田史和(教頭)



祝 ご卒業

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
卒業生の保護者の皆様、義務教育9年間の課程を修了し、立派に頼もしく成長したお子様の姿に、感慨もひとしおのことと存じます。卒業生の門出を、在校生及び職員一同、心からお祝い申し上げます。

三学期終業式 校長先生のお話

3学期が終わりとなります。3学期の始業式でこの学期の2つの意義をお話しましたが覚えていますか？1つは「本年度のまとめ」をする学期。もう1つは、「次のステージの準備」をする学期。48日間という短い学期ではありましたが、大切な様々な活動があり、その1日1日が濃密な時間だったに違いありません。

1年生は、1年間の活動をまとめるとともに、お世話になった3年生の卒業に向けて、3年生を送る会や卒業式に向けての準備を積み重ねていました。

そして、2年生は襷を引き継いだ生徒会に邁進しました。生徒総会の堂々と発表する姿、質問に対して対応する姿などに、3年生もこの東中学校を任せられるという思いを深めることができたようでした。また、並行して修学旅行の様々な準備を行っているのが伝わってきました。そして、3年生は・・・自己の進路実現に向けて邁進しました。前期試験に向けて、志願理由書を書き、「自分がなぜその学校を志願するのか」をしっかりと見定め、面接練習等を積み重ねましたね。また、私立、公立前期、公立後期に関わらず、日々の学習に邁進した3学期であったのではないかと思います。しかし、日常の活動を常に大事にし、仲間と過ごす1日1日を大切にしているように感じられました。

そういった中で、各学年とも本年度をまとめる活動がありました。3年生最後のクラスマッチ。1、2年生もクラスの団結が輝いたバスケットクラスマッチとなりました。そこには、プレーだけでなく、仲間の頑張りを応援する姿も輝いていました。大雪の日には、みんなのために雪かきをしてくれる姿もありました。それは、学校をこえて、小学生や地域の方のために、歩道の雪かきまで行われていました。こうした、「思いやり」をもった行動ができる本校の生徒がいることに感謝したいと思います。お世話になった3年生への感謝の気持ちと激励の気持ちを込めた3年生を送る会。1、2年生の歌に込めた感謝の思い。そして、3年生の、3年間の絆を感じさせるパフォーマンス。男子女子隔てなく、仲のよい姿に感動させられました。3年生の歌声は、1、2年生の宝物となりました。「送る側と送られる側の気持ちが通じ合い1つになる」そんな3送会となりました！そして、3年生の皆さんは、去りゆく校舎への思いを込めて、清掃や整備を行ってくれました。皆さんは、本年度のまとめをし、次へのステージにむけて準備を積み重ねてきました。そして、「卒業」と「進級」を目の前に、新たなステージに羽ばたく皆さんに、その準備として、今日は、『目的意識』と『心のもちよう』について、1つの童話をお話したいと思います。

童話：3人のレンガ職人から

世界中をまわっている旅人が、ある町外れの一本道を歩いていると、一人の男が道の脇で難しい顔をしてレンガを積んでいた。旅人はその男のそばに立ち止まって



レンガ積みが決まっているだろ!!朝から晩まで、俺はここでレンガを積みなさいいけないのさ。あんた達にはわからないだろうけど、暑い日も寒い日も、風の強い日も、日がな一日レンガ積みさ。腰は痛くなるし、手はこのとおり・・・なんで、こんなことばかりしなければならぬのか、まったくついてないね。もっと気楽にやっている奴らがいっぱいいるというのに・・・

ここで何を
しているの
ですか？



旅人は、その男に、慰めの言葉を残して歩き続けました。



3送会、3年生のパフォーマンス



しばらく行くと、一生懸命レンガを積んでいる、別の男に出会いました。



俺はね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これが俺の仕事でね。なんてことは無いよ。この仕事のおかげで俺は家族を養っていきけるんだ。ここでは、家族を養っていく仕事を見つけるのが大変なんだ。俺なんて、ここでこうやって仕事があるから家族全員が食べやくことに困らない。大変だなんていっていたら、バチがあたるよ

ここで何を
しているの
ですか？



旅人は、その男に、励ましの言葉を残して歩き続けました。

しばらく行くと、生き活きと楽しそうに、レンガを積んでいる、別の男に出会いました。



ああ、俺達のことかい？俺たちは、歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ！

「とんでもない！ここで多くの人々が祝福を受け、悲しみを払うだろう！素晴らしいぞ！」

ここで何を
しているの
ですか？



大変ですね？

旅人は、その男に、感謝の言葉を残して、また、元気いっぱい歩き続けました。

3人のやっている仕事は一緒です。でも、“目的意識”や“志”が違います！“心のもちよう”が違うのです。3人ともレンガの積みをしています。実際やっていることに違いはないかもしれませんが、しかし、「そのことに向かう気持ち」が、ずいぶん違うのです。皆さんは、どのレンガ積みの職人が「幸せ」だと感じますか？そして、皆さんは、どうありたいですか？

WBCの前監督の栗山さんの著書の中で、選手に語った中にも、こんな言葉があります。

「目の前で起こっていることは、嫌なことだったり、苦しいことだったりするかもしれない。しかし、それはマイナスのことではない。それを自分がどうとらえているかが、”問われている”だけなんだ」

あたらしいステージに突入すれば、大きな変化の中で、大変なこともあるかもしれません。そもそも「大変」とは、大きく変わると書きます。その時どう感じるかは「心のありよう」に関わるのです！

また、相田みつをさんの書にこんな言葉があります

「しあわせは いつも じぶんの ところが きめる みつを」

本日この後、通知表が配布されますが、三学期だけは、裏面にその学年を修了をしたことを示す、印が記されているはず。進級した新たな立場の中で、「目的意識」や「心のもち方」を大切に頑張ってくればよいと願っています。そして、いよいよ明日は『卒業証書授与式』3年生は、それぞれの道に向かって大いに羽ばたいてください。皆さんが本年度掲げた目標『翼』を携えて

春休みを迎えるにあたり

- ◇生徒だけで市外に行くことやゲームセンター（コーナー）、カラオケ、飲食店等に入らないようにしましょう。
- ◇交通ルール（特に安全確認の一時停止の徹底）を守り、自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。
- ◇携帯電話、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機は、その使い方について保護者とよく相談しましょう。特にSNSやインターネット接続利用には充分注意しましょう。
- ◆春休み中も祝祭日以外は学校に職員がいますので、必要がありましたら電話ください。（東中0267-67-2392）

思い出フォト(3学期) 3年生を送る会、クラスマッチ、生徒総会、奉仕作業より



